

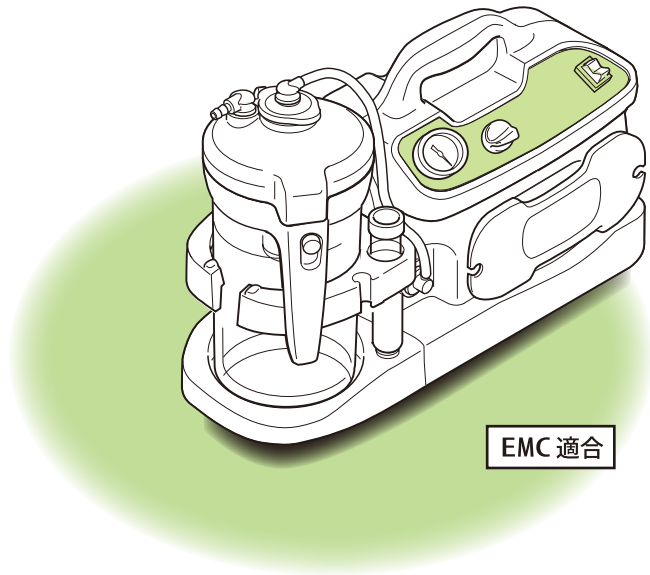
ポータブル吸引器

MinicS-II MinicW-II
ミニックS-II/ミニックW-II

MS2 認証番号 22300BZX00311000

MW2 認証番号 22300BZX00310000

取扱説明書



EMC 適合



この度は、ポータブル吸引器ミニック S - II / ミニック W - II をお買い上げいただきましてありがとうございます。

本製品を正しくお使いいただくため、ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みください。また、本書は必要なときにすぐ使えるように、手近な所に大切に保管しておいてください。



新鋭工業株式会社

主な特長

- 軽量、コンパクトで携帯にも移動にも便利です。
- 吸引ボトルには、衝撃に強いポリカーボネイト樹脂によるプラスチック製の大口徑（約 11cm）吸引ボトルを採用しました。
また、ワンタッチで吸引物を捨てられる脱着ボタンと取手を採用し、取扱いが楽になりました。
- 低圧吸引から高圧吸引まで、任意の吸引力が得られます。
- ピストンポンプ採用により、高吸引圧・高流量の吸引ができます。
- 吸引停止フロート弁の採用により、吸引物が一杯になると自動的に吸引が停止します。
- ボトルカバーにクッション部を設けてフィルターを設置し、ミスト状吸引物のポンプ内への浸入を軽減します。
- ホース口の大きさが本体側、吸引ホース側でそれぞれ異なり、ボトルカバーへの誤接続を防止する構造です。
- 吸引カテーテルや吸引ホースを収納する樹脂製カテーテルホルダーと、吸引ホースを固定する溝を設けました。
（吸引を一時中断する時に使用）
- オプション品で PTFE（ポリ四ふっ化エチレン）素材を使用した、ミスト状水分等の吸引物を通過させにくいフィルターを用意いたしました。（35 ページ参照）
- 排気フィルターの採用により、汚れた空気をそのまま放出しない構造です。
- ISO 規格に準拠した吸引口内径 6mm を採用し、ホース内径は 7mm ですので目詰りの少ないスムーズな吸引が行えます。
- 電源コード巻き取り収納で、移動に便利です。
- 連続使用時間が 6 時間です。

目次

安全のために.....	4
使用上の注意.....	5
各部の名称.....	8
正しい取扱い方	
1 準備.....	10
2 操作.....	12
3 使用後の取扱い.....	14
4 滅菌・消毒について.....	20
参考資料（吸引器の滅菌・消毒について）.....	24
5 本体の清掃.....	26
6 排気フィルターの交換.....	26
保守・点検	
1 日常点検.....	27
2 保守点検（ユーザー点検）チェックリスト.....	28
3 定期点検について.....	30
故障かな？と思ったら.....	31
オプション・交換部品について.....	34
仕 様.....	42
廃棄について.....	43
EMC 技術資料.....	44
保証・アフターサービスについて.....	46

安全のために

安全のための注意をお守りください。

この取扱説明書には安全にご使用いただくための重要な注意事項が掲載されています。ご使用になる前に必ずよくお読みください。

警告

機器が正常な作動で使用ができて、この事項をお守りにならない場合は、使用者に重篤な危険状態や機器の不具合が発生する場合があります。

禁忌・禁止

機器の使用目的以外の誤った取り扱いや、ご使用できない患者、疾患、併用できない医療機器や接続機器などについての事項です。この事項をお守りにならない場合は、使用者に重篤な危険状態や機器の不具合が発生する場合があります。

注意

警告または禁忌・禁止以外の、ご使用上のお守り頂きたい注意事項や機器の保管やメンテナンスを行う上での注意についての事項です。この事項をお守りにならない場合には、機器の正常な性能が得られず、医療行為に障害が発生したり、機器の不具合が発生する場合があります。



安全にお使いいただくために

医療機器は、その故障や不具合の発生による医療の中断が、患者さんの命に直接的および間接的にかかわる場合があります。

必ず、3ヶ月に1度の保守点検（ユーザー点検）を行ってください。

また、2年に1度の製造販売元または医療機器修理業者による定期点検をお受けください。（定期点検は有料となります）

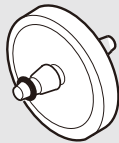
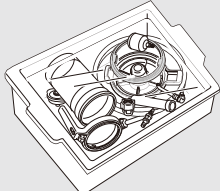
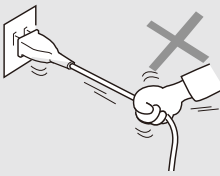
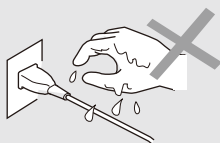
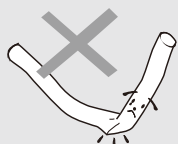
お願い

本器を点検または修理として戻される場合には、**吸引ボトル内の吸引物は必ず捨て、消毒または滅菌を行った後にお戻しください。**

なお、感染症等の恐れがある場合にはお受け取りできませんので、あらかじめご了承ください。

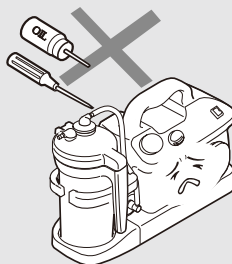
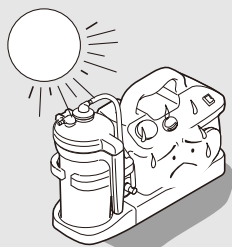
使用上の注意

⚠ 警告



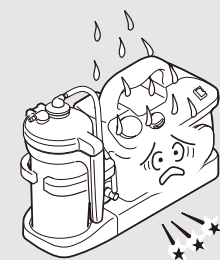
- 医師、または医療従事者の指導により使用してください。
- 本書および添付文書に従った保守点検を必ず行ってください。
- 吸引ホースが折れ曲がらないよう注意してください。
- 薬液の種類・用量・用法を必ず守ってください。
- 吸引物は早めに捨ててください。
- 濡れた手で電源コードや電源プラグを触らないでください。感電によるケガをする恐れがあります。
- 電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに、必ずプラグを持って抜いてください。断線やショートにより、感電や火災などの原因となることがあります。
- 吸引ホース、吸引ボトルおよび吸引ボトルの付属品、カテーテルホルダーは、洗浄後必ず滅菌または消毒してください。（在宅の場合は必要に応じて、滅菌・消毒してください）
- 消耗部品は定期的に交換してください。交換の際は必ず当社純正部品を使用してください。
- 本体背面の通気口を塞がないでください
- 吸引物をポンプ側に吸い込んだ場合は、配管内に溜まる危険があるため、必ず製造販売元または修理業者による点検を受けてください。
- PTFE 吸引フィルター（オプション品）はミスト状（霧状）になった吸引物が付着するため、徐々に目詰まりを起こします。吸引力が低下したと感じたら、早めに新しいフィルターと交換してください。
- PTFE 吸引フィルター（オプション品）に万一吸引物を吸い込んでしまった場合には、1回で目詰まりを起こし、吸引できなくなる場合がありますので、ご注意ください。

禁忌・禁止



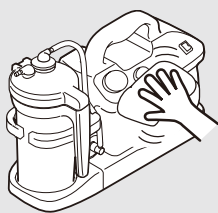
- 本器の使用目的以外の目的（採血用など）では絶対に使用しないでください。
- PTFE 吸引フィルター（オプション品）は滅菌・消毒しての再使用はできませんので、新しいフィルターと交換してください。
- PTFE 吸引フィルター（オプション品）にアルコール等の溶剤や消毒液を流さないで下さい。（液体が通過してしまう場合があります。）
- 吸引バッグ（オプション品）は再使用しないでください。
- 規定以上の連続運転はしないでください。（6 時間まで）
- 直射日光の当たる場所、高温・高湿になる場所に設置しないでください。
- 本体各部に注油しないでください。
- 分解・改造は絶対にしないでください。
- 当社の純正部品以外は使用しないでください。

注意



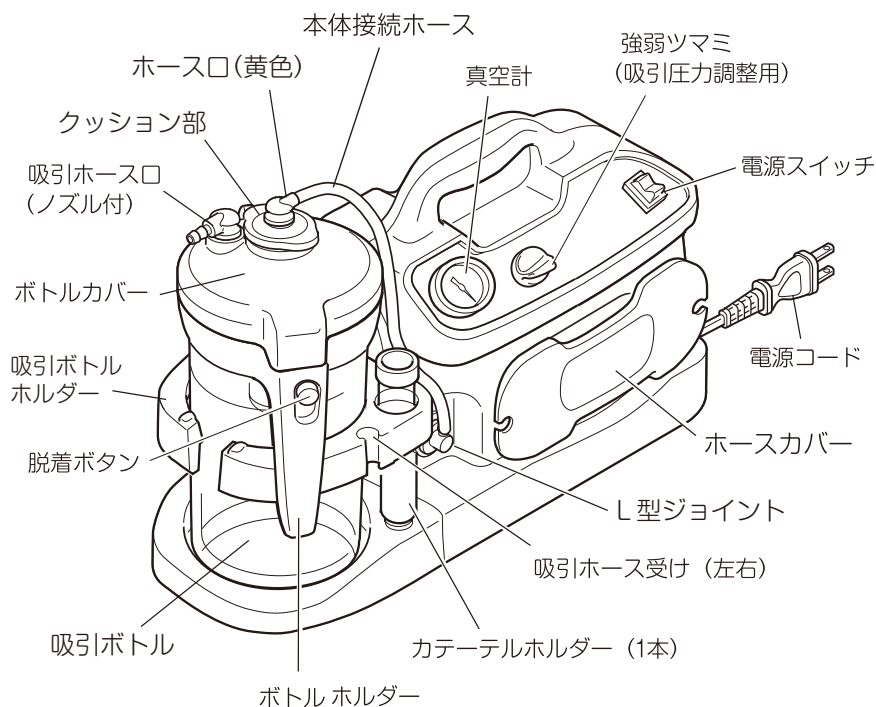
- 使用前に必ず本書および添付文書を読み、よく理解してから使用してください。
- 電源の電圧、周波数および許容電流値に注意してください。
- 吸引圧力は必ず医師の処方に従い、使用前に吸引圧力の設定が適切であることを確認してください。
- 機器および患者に異常のないことを絶えず監視してください。
- 機器および患者に異常が発見された場合には、機器を止め、修理を依頼するなど適切な措置を行ってください。
- 本器は周囲温度 10 から 40℃、相対湿度 30 から 75% の環境で使用してください。
- 水がかからないように注意してください。
- 振動や衝撃等を与えず、水平な安定した場所で使用してください。

注意

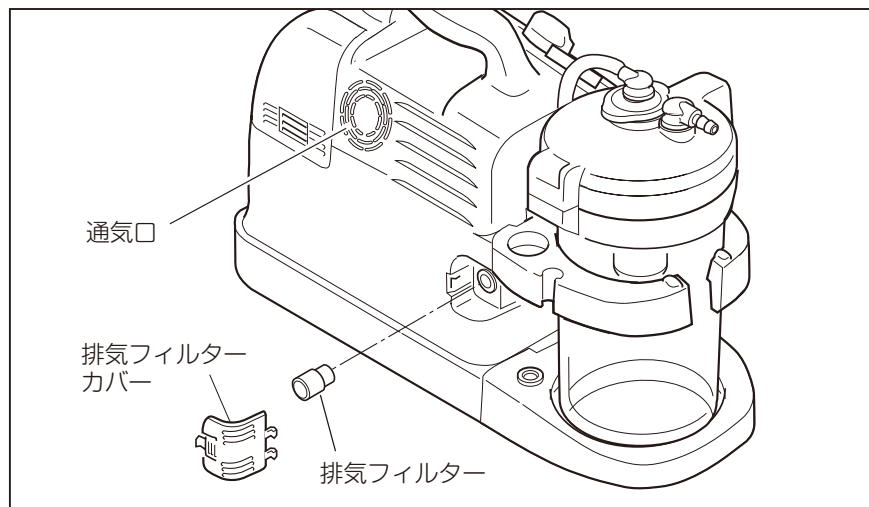


- 電源コードを傷つけないでください。コードの上に物を置かないでください。
- 電源プラグは根元までしっかりと差し込んでください。
- 電源プラグや、コンセントに「ほこり」を溜めないように清掃してください。コンセントが熱を持ち、ほこりに引火することがあります。
- 吸引ホース、吸引ホース口、吸引ボトル、吸引ボトルの付属品は、洗浄・乾燥が不十分だとカビ（黒またはピンク）が発生する可能性があります。ご使用後の洗浄・乾燥を十分に行ってください。
- ボトルホルダーを吸引ボトルの上までしっかり入れてからボトルカバーをはめてください。吸引ボトルの途中でボトルホルダーを止めてしまうと、ボトルカバーが閉まらないことがあります。
- 定期的な清掃や点検をしてください。本器を永く安全にお使いいただくため、また突然の故障等を防ぐためにも、必ず本書に従った日常点検、保守点検（ユーザー点検）および定期点検を行ってください。（27 ページ参照）
- 長期間使用しない場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 長期間使用しなかった場合は、点検に出すなど作動上の安全を確認してから使用してください。
- 連続運転（6 時間まで）時は金属部やその周辺が熱くなるので注意してください。
- 機器に吸引圧力が残った（真空計の針が「0」に戻っていない状態）まま、電源スイッチを「入」にしないでください。作動しなくなる、ヒューズが切れるおそれがあります。
- 本器（付属品・オプション品を含む）を廃棄する場合は、お住まいの市区町村の指導に従ってください。環境汚染の原因となることがあります。

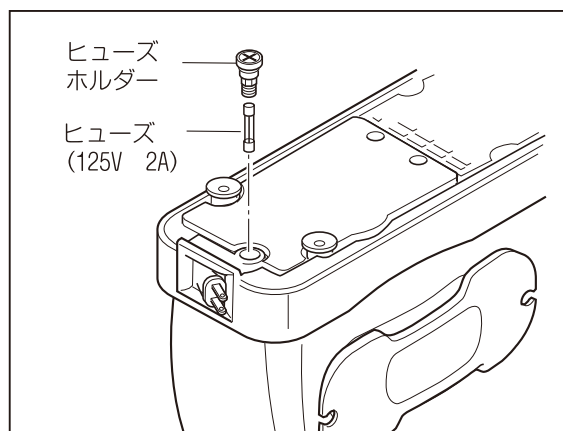
各部の名称



■ 本体背面

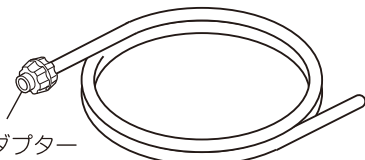
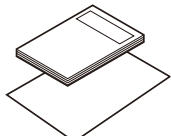
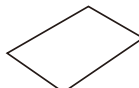


■ 本体底面



■ 標準付属品

ご使用になる前に、付属品の欠品がないかご確認ください。

吸引ホース (アダプター付)  アダプター	カテテル コネクター S-6 	
フィルター 2ヶ (予備) 	予備ヒューズ (125V 2A) 	ダストカバー 
取扱説明書・添付文書 	クイックマニュアル 	ユーザー 登録カード 

フィルターは、クッション部フィルター、排気フィルターのどちらも使用できます。

正しい取扱い方

7. 準備



注意

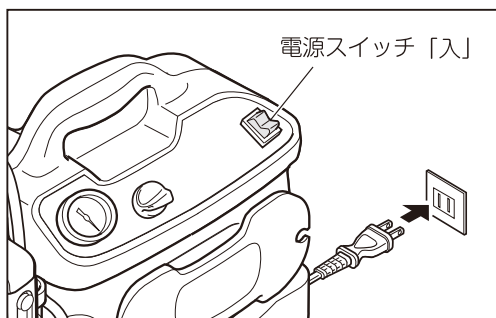
その日初めて使用するときは、日常点検を実施してください。
(27 ページ 参照)

吸引バッグ（オプション品）をご使用の場合は、ディスプレイの付属書および吸引バッグの添付文書を併せてご参照ください。

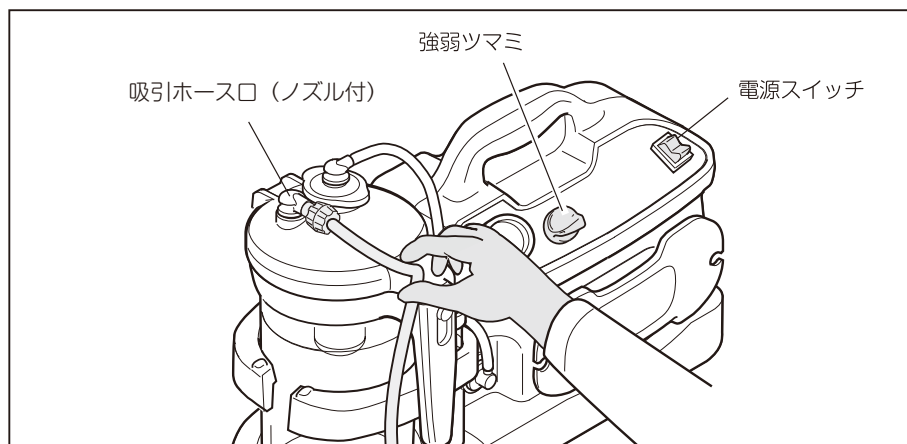
- 1 本器を水平な安定した場所へ置いてください。
- 2 ボトルカバー、本体接続ホース等は、漏れのないように取り付けられていることを確認してください。

- 3 電源コードを本体より引出し、コンセントに正しく差し込み、電源スイッチを「入」にしてください。

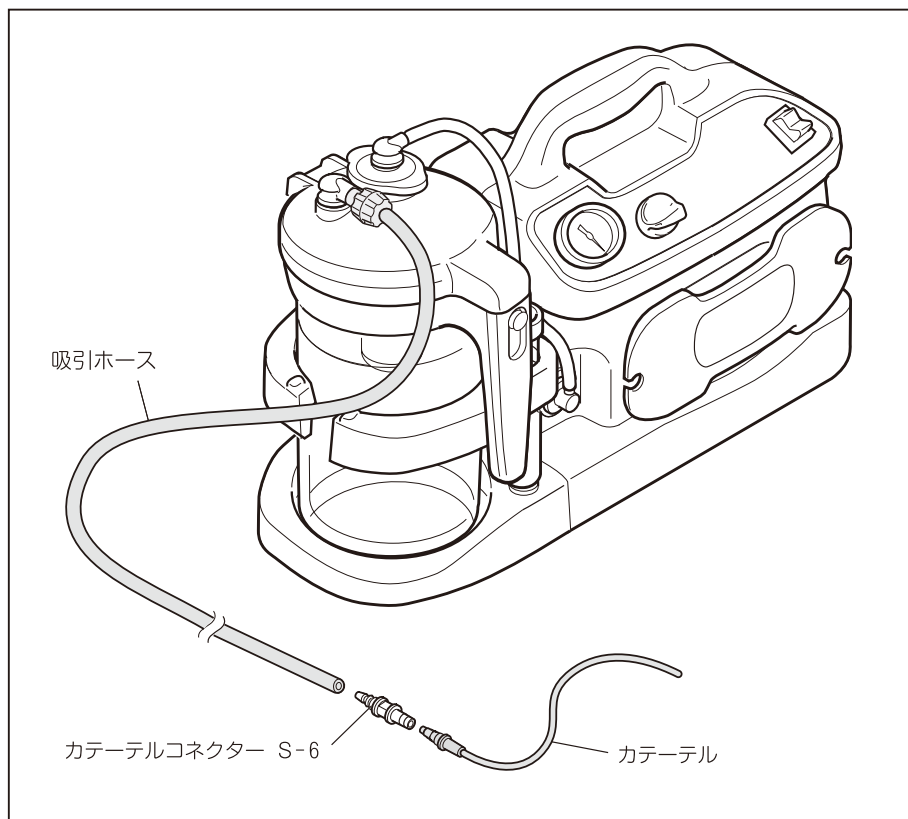
注： 電源コードに赤いテープが見えたら、それ以上は引出さないようにしてください。



- 4 吸引口または吸引ホース口（ノズル付）に吸引ホースを取り付け、指で吸引ホースを折り曲げて、吸引圧力調整用の強弱ツマミを回して必要な圧力（医師の処方した圧力）に調整します。この後、一度電源を「切」にしてください。

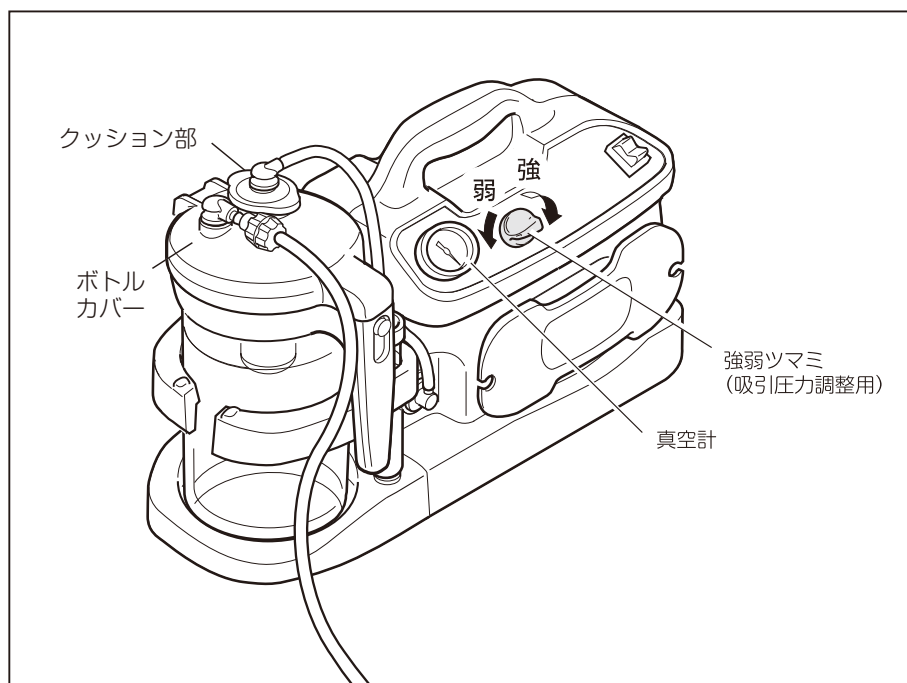


5 吸引ホースにカテーテルコネクタ S-6・カテーテルをつなぎます。



2. 操作

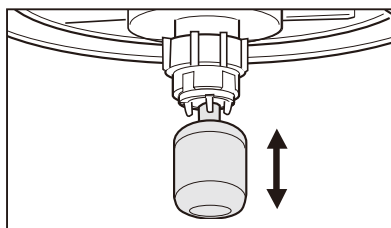
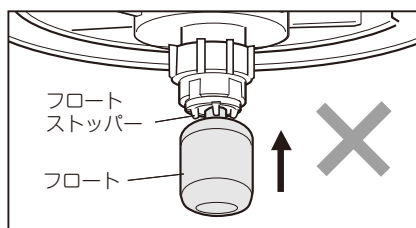
- 1 電源スイッチを「入」にしますと、吸引ポンプが作動し吸引を始めます。
- 2 カテーテルの先端を口腔、咽喉、鼻腔などの処置部に挿入します。
- 3 吸引圧力が不足したとき、または強い場合は吸引圧力調整用の強弱ツマミをゆっくり回し、真空計の目盛りを見ながら徐々に吸引圧力を加減してください。



- 4 吸引ボトル内に吸引物が一杯になりますと、自動的に吸引が停止しますが、**吸引物はできるだけ早めに捨てるようにしてください。**
- 5 万一、ボトルの中の吸引物をポンプ側に吸い込んでも、ボトルカバーのクッション部に溜まるようになっていますが、クッション部には吸引物を溜めないように注意してください。(クッション部は常に空の状態で使用してください)

吸引ボトル内のフロートについて

吸引ボトル内の吸引物が増えると、フロートが吸引物と共に上昇し、フロートストッパー（吸引停止フロート弁）が作用します。吸引停止フロート弁が作用すると、吸引物がポンプへ内部浸入するのを軽減させます。万一、フロートストッパーが作動しない場合は、フロートが上昇したままになっている可能性があります。ボトルカバーを開け、フロートが上下に動くことを確認してください。

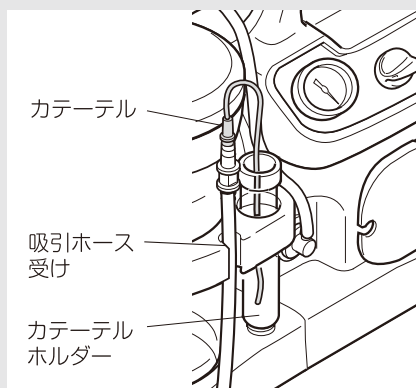


⚠ 注意

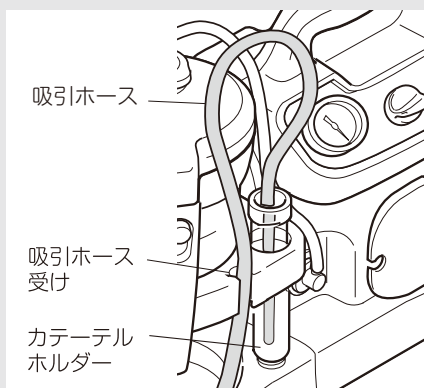
吸引器は、吸引配管内やポンプ内にミスト状の吸引物を吸い続けていますので、使用頻度によって吸引圧力や吸引流量に影響がでてきます。必ず、製造販売元または修理業者による定期点検をお受けください。（有料）

吸引を一時的に中断する場合

吸引を一時中断する場合には、図のように吸引ホースを吸引ホース受けに挟んで固定し、カテーテル（**使用例 1**）または吸引ホース（**使用例 2**）をカテーテルホルダーに入れてください。



使用例 1



使用例 2

3. 使用後の取扱い

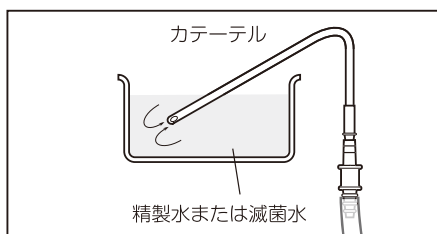
本器を永く、正常にご使用いただくため、使用後の処置は大切です。
次の手順に従ってお取扱いください。

吸引バッグ（オプション品）をご使用の場合は吸引バッグ・キャニスタの添付文書に従い、吸引物およびキャニスタ・バッグの処理を行ってください。

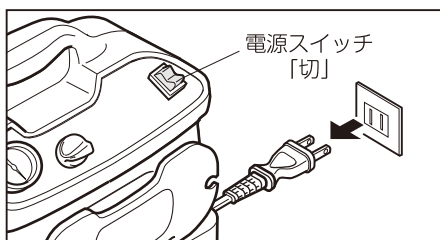
- 1 吸引が終了した場合は、精製水または滅菌水などを吸引し、ホースやカテテル等の目詰まりを防ぐために洗浄を行ってください。

※ めるま湯（40℃程度）を吸引すると汚れが落ちやすくなります。

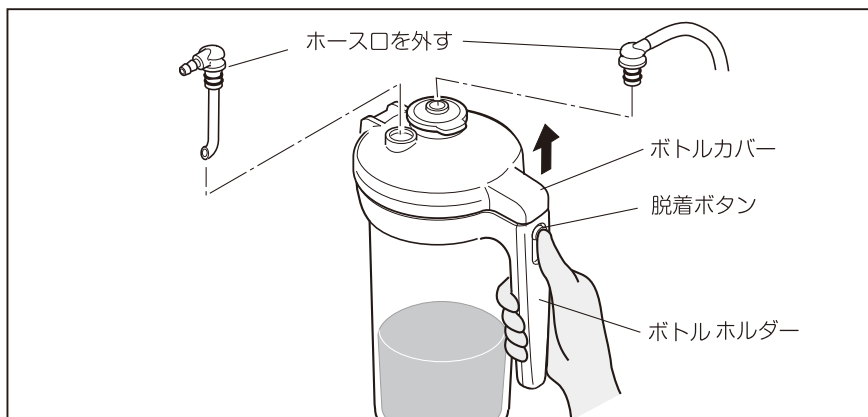
吸引ホース専用洗浄ブラシを用いたホース内部の洗浄方法について。
(39 ページ参照)



- 2 電源スイッチを「切」にし 電源コードを抜いておいてください。
（コードは必ず根元のプラグ部分を持って抜いてください。）



- 3 本体より吸引ボトルを外し、図のようにホース口、ボトルカバーを外して吸引物を捨ててください。ボトルホルダーの脱着ボタンを押すと、ボトルカバーを外せます。



クッション部カバーの取り外し



クッション部フィルターについて

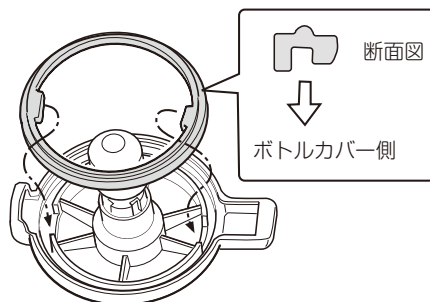
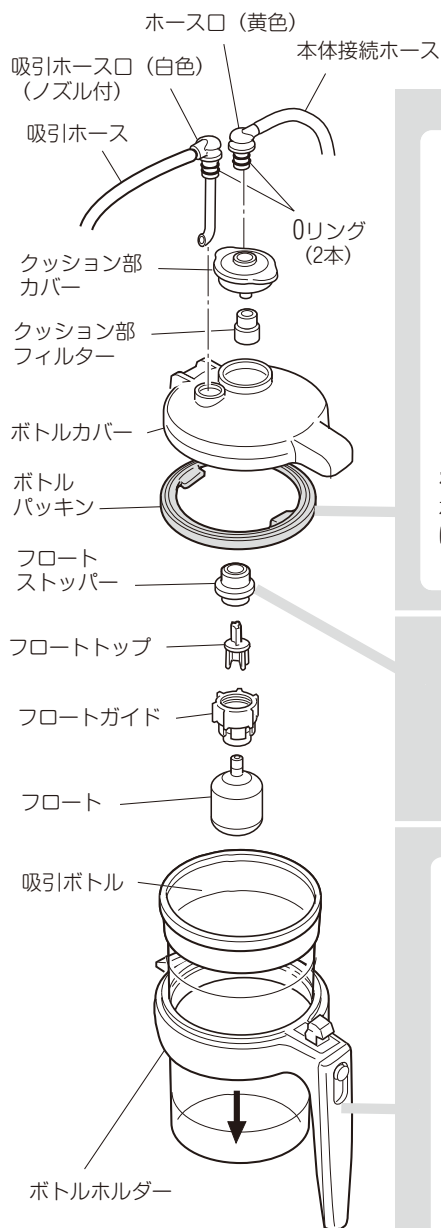
クッション部フィルターは、ポンプ内への吸引物や消毒剤のミストの浸入を減少させるためのものです。吸引が弱くなり、目詰まり感が出ましたら付属の予備フィルターと早めに交換してください。

＊ 予備のフィルターが無く、緊急を要する場合にはフィルター無しで使用してください。その後の使用のために必ず予備のフィルターを、販売店でお買い求めください。

注：クッション部フィルターは滅菌・消毒しての再使用ができません。新しいフィルターと交換してください。

- 4** 次項の図のように各部品を取り外して洗浄します。部品をなくさないように注意して、清潔な水で水洗いしてください。

正しい取扱い方



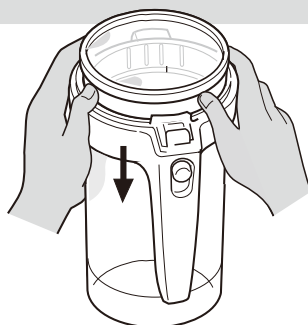
ボトルパッキンの取付け方法

ボトルパッキンの突起部とボトルカバーの切欠け部を、一致させて取付けてください。
(逆付け防止機構)

上側



フロートストッパーの向きに注意して取付けてください。

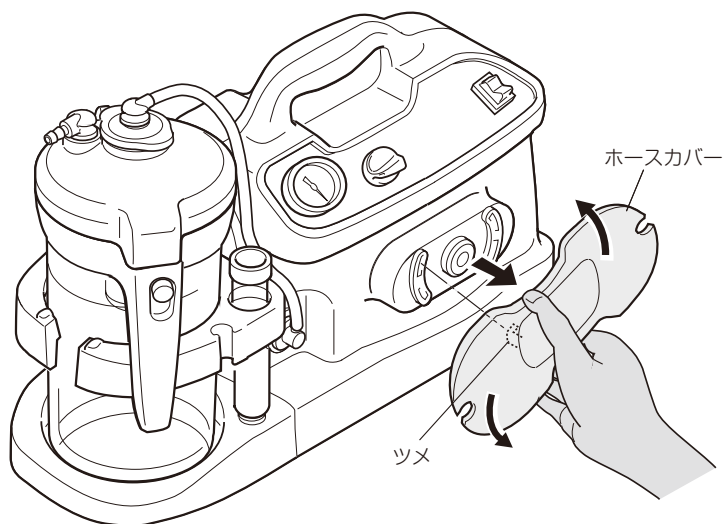


吸引ボトルを固定しながらボトルホルダーを下に引くと、ボトルホルダーが取外せます。取外す際は、ボトルホルダーに手を添えながら、下に引いてください。

ホースカバーの取り外し

ホースカバーを反時計回りに回すと外れます。汚れが付く等、洗浄したい場合は外してください。

(取り付ける場合は、本体とホースカバーのツメを合わせて、ホースカバーを時計回りに回してください。)



- 5** 汚れがきれいに落ちていることを確認し、滅菌または消毒をしてください。
(20 ページ参照) ※在宅の場合は必要に応じて消毒してください。

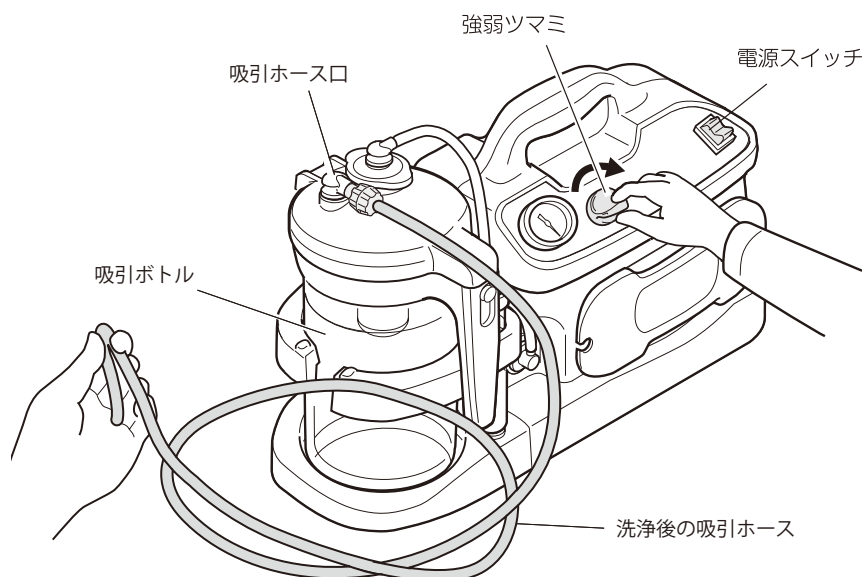
注意

下記の部品は、洗浄・乾燥が不十分だとカビ（黒またはピンク）が発生する可能性があります。ご使用後の洗浄・乾燥を十分に行ってください。

- 吸引ホース
- 吸引ホース口
- 吸引ボトル
- 吸引ボトルの付属品

ミニック S- II / W- II を用いた吸引ホースの乾燥方法

- ① 10 ページに従って、電源コードをコンセントに正しく差し込んでください。
- ② クッション部フィルター (15 ページ参照) が乾燥していることを確認してください。
- ③ 吸引ホース口に、洗浄後の吸引ホースを接続します。
- ④ 本体の電源スイッチを「入」にします。
- ⑤ 強弱ツマミを「強」にして、吸引ホースの先端を折り曲げ閉塞します。
- ⑥ 吸引圧力が -80 kPa 程度になったら、吸引ホースから手を離し開放します。開放すると勢よく空気が流れ、ホース内部の水が吸引されます。
- ⑦ ⑤～⑥の手順を 4、5 回繰り返します。
- ⑧ 吸引ホース内部が乾燥したら、電源スイッチを「切」にします。
- ⑨ 吸引された吸引ボトル内の水を、乾いた布等で拭き取ります。



各部品を早く乾燥させる方法

洗浄後、乾いた布等で各部品の水を拭き取ってください。

組み立てて本体に接続した後、電源スイッチを「入」にして作動し、吸引ボトル内を乾燥させてください。

(自然乾燥よりも早く乾燥し、カビ発生の防止になります。)

△ 注意

- 吸引ボトル内を空にしてから行ってください。吸引の勢いで吸引ボトル内の内容物が飛散し、本体内部に浸入するおそれがあります。
- PTFE 吸引フィルターをご使用されている場合、目詰まりするため、18 ページの「ミニック S- II /W- II を用いた吸引ホースの乾燥方法」を行わないでください。

洗浄後、滅菌・消毒を行わない場合

各部品を十分に乾燥させます。その後、元のように組み立てます。

4. 滅菌・消毒について

ディスポキット（オプション品）の滅菌・消毒については、吸引バッグ・キャニスタの添付文書を併せてご参照ください。

1. 病院等の施設での滅菌・消毒方法

高圧蒸気滅菌（オートクレーブ）はできません。エチレンオキシドガス（EOG）滅菌または消毒剤による浸漬消毒をおすすめします。

- エチレンオキシドガス（EOG）滅菌（24 ページ参照）

50℃以下で行ない、滅菌後十分にエアレーションを行うなど、残留ガスには充分にご注意ください。

- 消毒剤による浸漬消毒（24 ページ参照）

吸引ボトル、吸引ボトルの付属品は本体から取り外して、各材質に合った消毒剤を用いて浸漬消毒を行ってください。（消毒剤の添付文書に記載されている度を守ってください。）

グルコン酸クロルヘキシジン（ヒビテン液など）や逆性石けん類（オスバン液など）などの、樹脂にやさしい消毒剤のご使用をお勧めします。

2. 在宅での消毒方法

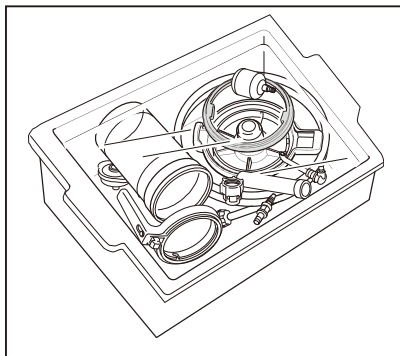
消毒剤による浸漬消毒をおすすめします。

- 消毒剤による浸漬消毒

（24 ページ参照）

吸引ボトル、吸引ボトルの付属品は本体から取り外して、各材質に合った消毒剤を用いて浸漬消毒を行ってください。

（消毒剤の添付文書に記載されている濃度を守ってください。）



※ ただし、改正薬事法により、購入できる消毒剤が改正以前よりも限られていますので、ご注意ください。

⚠ 注意

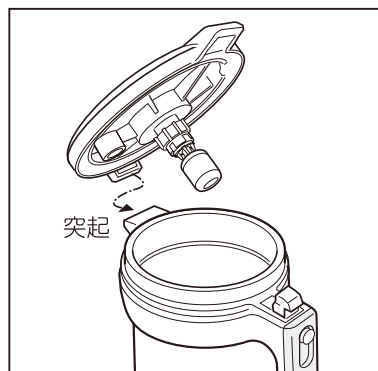
消毒剤使用上の注意点

- 汚れ、付着物等をよく落としてから、消毒をしてください。
(汚れ、付着物がついたままでは、消毒効果が低くなります。)
- 消毒剤は、他の消毒剤や洗剤と混ぜないでください。
(消毒剤の効力が損なわれたり、危険な成分が生じることがあります。)
- 消毒剤の添付文書に記載されている濃度を守ってください。
(器具類の劣化を生じることがあります。)
- 消毒剤に直接接触したり、気化したガスを吸わないように注意してください。(手荒れを起こしたり、有毒なガスを吸い込んだりする場合があります。)
- 消毒後は、滅菌水などですすぎ洗いし、良く乾燥させてから保管してください。
- 次亜塩素酸ナトリウム系、ポビドンヨード系の消毒剤は金属部が腐食する場合がありますので避けてください。
- 過酢酸は金属部の腐食、ゴム類の劣化が生じる場合がありますので避けてください。
- フェノール系、両性界面活性剤系、アルコール系は樹脂にヒビ割れ等が生じる可能性がありますので避けてください。
(PTFE 吸引フィルターをご使用の場合、アルコール系等の溶剤系の使用は避けてください。)
- 強酸性水は金属部分を腐食させますので、ご使用にならないでください。

3. 消毒後について

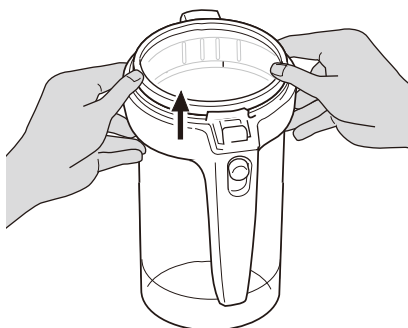
消毒後は、すすいで、よく乾燥させます。
元のように吸引ボトルを組み立て、本体に取り付けてください。この際、各パッキンはきちんと組み込むように注意してください。(16 ページ参照)

また、ボトルカバーを吸引ボトルに取付ける際は、ボトルカバーの突起部にはめ込んでから取付けてください。



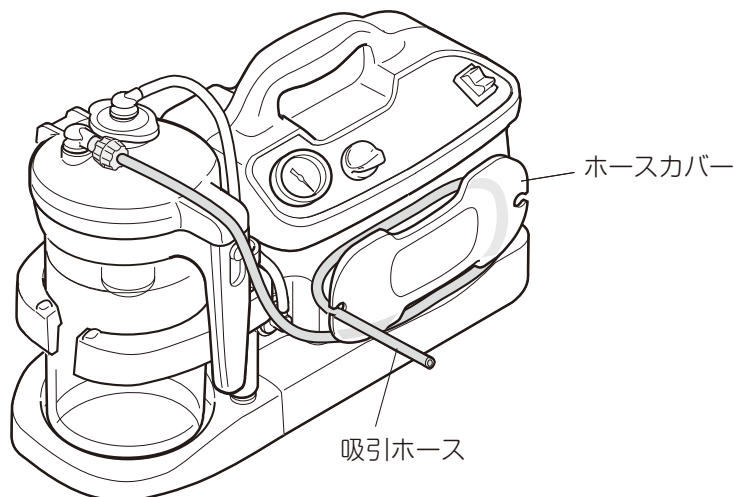
⚠ 注意

ボトルホルダーを吸引
ボトルの上までしっかり
入れてからボトルカ
バーをはめてください。
吸引ボトルの途中でボ
トルホルダーを止めて
しまうと、ボトルカバ
ーが閉まらないことがあ
ります。



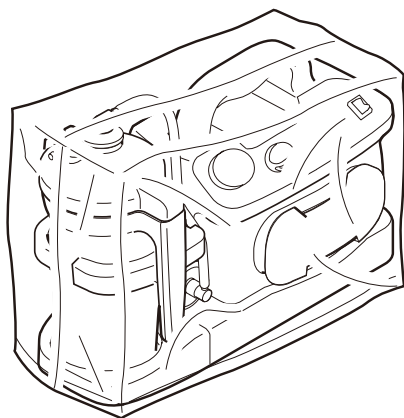
ホースカバーの使い方

使用しない時は、吸引ホースをホースカバーに巻きつけることもできます。
図のように吸引ホース先端を挟めます。
ホースカバーを外したい場合は反時計回りに回してください。
(17 ページ参照)



本体の保管

保管には付属のダストカバーをご利用ください。



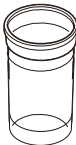
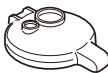
参考資料

吸引器の滅菌・消毒について

○：使用可能

△：使用可能（外観または感触に変化あり）

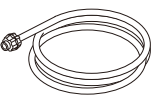
×：使用不可

部品名 (材質) 消毒剤の種類 (代表的な商品名)	吸引ボトル	ボトルカバー	ボトルホルダー	ボトル パッキン
	(ポリカーボネイト)	(PC / ABS)	(PC / ABS)	(シリコン)
				
グルコン酸クロルヘキシジン (ヒビテン液)	○	○	○	○
逆性石鹼類 (オスバン液)	○	○	○	○
フタラール (ディスオーパ)	○	○	○	○
アルコール (消毒剤エタノール)	○	○	○	○
次亜塩素酸ナトリウム (ミルトン)	○	○	× ※金属腐食	○
両性界面活性剤 (エルエイジー)	× ヒビ	○	○	○
フェノール (クレゾール石鹼液)	×	×	×	×
ポビドンヨード (イソジン)	×	×	×	×
煮沸消毒 (ウオッシャーディスインフェクター含む)	○	×	×	×
高圧蒸気滅菌	×	×	×	×
エチレンオキシドガス (EOG) 滅菌	○	○	○	○

※ボトルホルダー内にステンレス部品が含まれているため、金属腐食が発生します。

●フェノール、ポビドンヨードはヒビ、溶解、着色の恐れがあります。

●煮沸消毒、高圧蒸気滅菌は変形の恐れがあります。

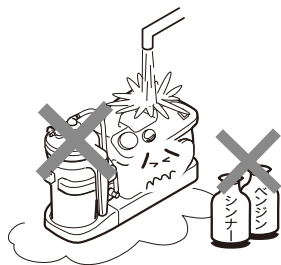
フロートトップ フロートガイド フロート	フロート ストッパー	吸引ホース口	吸引ホース	アダプター カテーテルコネ クター-S-6	カテーテル ホルダー	クッション部 カバー
(ポリプロピレン)	(シリコン)	(ポリプロピレン) Oリング (シリコン)	(塩化ビニル)	(EVA樹脂)	(PMP樹脂)	(ポリカーボネイト)
						
○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	△ 染み	○
○	○	○	× ホース硬化	○	○	○
○	○	○	△ ホース内結晶化	○	○	○
○	○	○	○	○	○	× ヒビ
× 刺激臭	×	× Oリング硬化	× ホース硬化	△	×	×
×	×	×	×	×	×	×
×	×	×	×	×	○	×
×	×	×	×	×	○	×
○	○	○	○	○	○	○

注：フィルター、PTFE フィルターは滅菌・消毒しての再利用はできませんので、新しいフィルターと交換してください。

5. 本体の清掃

水で湿らせた布に中性洗剤を少量加えて汚れを落とし、乾いた布等できれいに拭き取ってください。

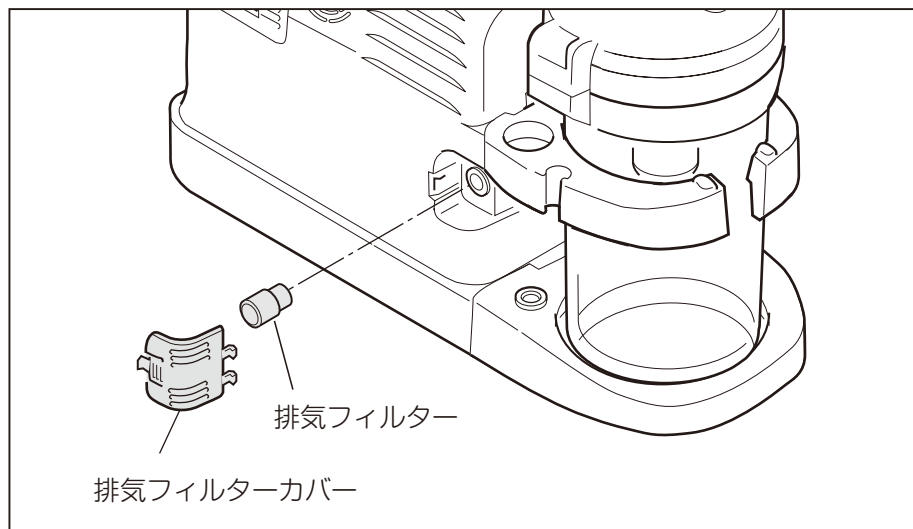
⚠ 注意



- 水洗いは絶対にしないでください。
- ベンジン、シンナー、研磨剤入り洗剤（クレンザーなど）、中性洗剤以外をご使用になりますと、樹脂にヒビ割れ等が生じる可能性があります。
- フェノール系、両性界面活性剤系、アルコール系は樹脂にヒビ割れが生じる可能性がありますので避けてください。（PTFE 吸引フィルターをご使用の場合、アルコール系等の溶剤の使用は避けてください。）

6. 排気フィルターの交換

排気フィルターカバーを外すと排気フィルターが取り出せます。
排気フィルターは定期的に（1 ヶ月に 1 回程度）交換してください。



保守・点検

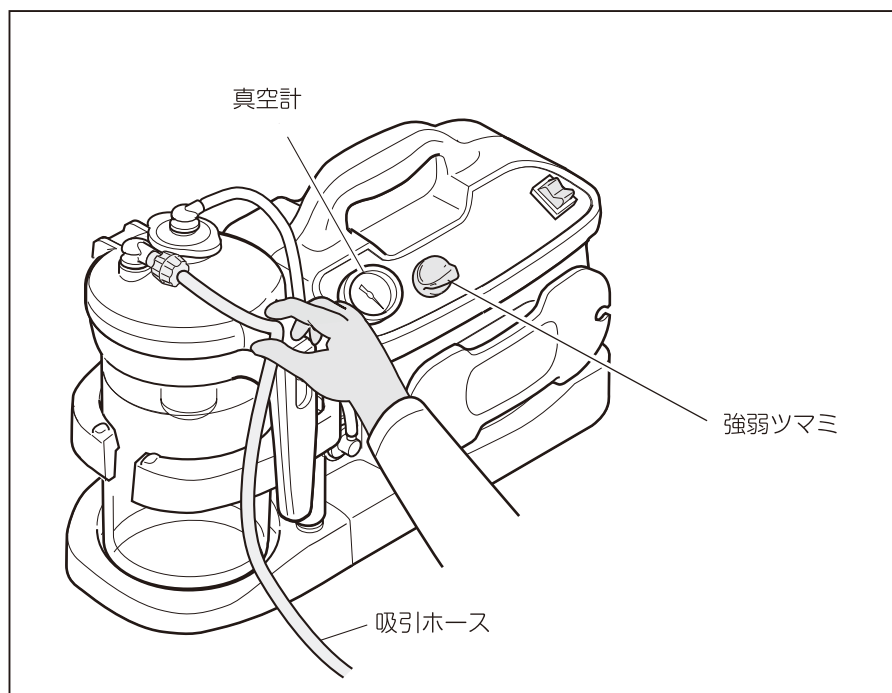
7. 日常点検



注意

ご使用前に必ず以下の点検をしてください。

- 電源コードのプラグが変形していないことを確認してください。
- 吸引ボトルおよび吸引ボトルの付属品の外観に異常がないか確認してください。
- 接続部やツマミ等に緩みがないか、動きがスムーズであるか確認してください。
- 電源スイッチの「入」/「切」が正常で、指で吸引ホースを折り曲げ、強弱ツマミを回して真空計の指針がスムーズに変動することを確認してください。
- 排気フィルターが汚れていないか確認してください。(26 ページ参照)



2. 保守点検（ユーザー点検）チェックリスト

ユーザー点検は使用者が行う定期的な点検です。3 ヶ月に 1 度、以下のチェックリストを利用して点検を行ってください。

(28, 29 ページをコピーしてご活用ください。)

機能点検

製造番号：

点検日： 年 月 日 点検者：

点 検 内 容	点検結果		状 況	備考
強弱ツマミを「強」方向に回した時に、吸引圧力が高くなること (27、32 ページ参照)	良	否		
強弱ツマミを「弱」方向に回した時に吸引圧力が低くなること	良	否		
異音の発生やツマミ等に緩みがないこと	良	否		
真空計の指針がスムーズに動くこと	良	否		
真空計の指針が停止状態で「0」を指すこと	良	否		

機能点検で「否」の項目があった場合は、お買い上げの販売店にご相談のうえ、製造販売元または修理業者に点検・修理を依頼してください。

構成品の有無と外観点検

製造番号：

点検日： 年 月 日 点検者：

品 名		構成品の有無		外観上の変化		キズや劣化、変形、汚れの状況	備 考
本体接続ホース		有	無	有	無		
吸引ホース(アダプター付)		有	無	有	無		
カテーテルコネクタ S-6		有	無	有	無		
カテーテルホルダー		有	無	有	無		
強弱ツマミ		—	—	有	無		
電源スイッチ		—	—	有	無		
ヒューズホルダー		—	—	有	無		
真空計		—	—	有	無		
排気フィルター		有	無	有	無		
電源コード		—	—	有	無		
本体外装部		—	—	有	無		
ホースカバー		有	無	有	無		
クッション部カバー		有	無	有	無		
クッション部フィルター		有	無	有	無		
その他							
吸引ボトル関係							
吸引ボトル		—	—	有	無		
ボトルカバー		—	—	有	無		
ボトルホルダー		—	—	有	無		
ボトルパッキン		有	無	有	無		

構成品を紛失した場合、また構成品に劣化等が見られる場合は、補充用の部品をお買い上げの販売店にご依頼ください。

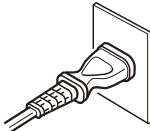
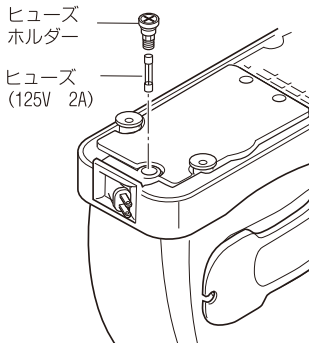
3. 定期点検について

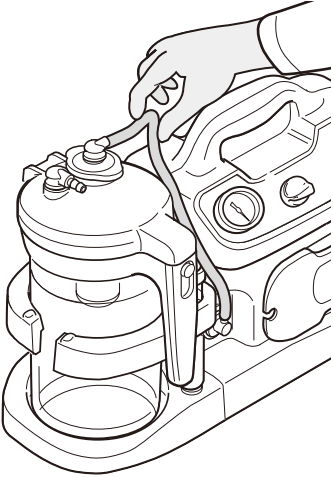
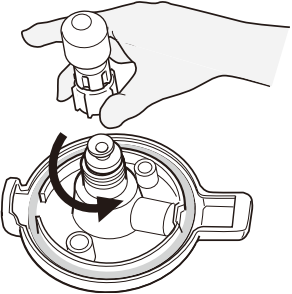
突然の事故を未然に防止し、安全にお使いいただくため、弊社では2年に一度の製造販売元または医療機器修理業者による、定期点検の実施をお願いしております。定期点検ではゴム製部品などの消耗部品の交換のほか、機能・性能点検を行います。また、必要に応じて消耗部品以外の劣化の進んでいる部品の交換を行います。

吸引器は長時間の使用中にミスト状の吸引物等がポンプ内および配管に浸入します。そのため、吸引能力が次第に初期値に比して低下しますので、必ず定期点検を受けてください。（定期点検は有料となります。）

故障かな？と思ったら

故障や不調の場合、修理を依頼される前にこの処置を行ってみてください。正常に作動する場合があります。各処置を行っても正常に作動しない場合は分解などはせず、お買い上げの販売店にご相談ください。

症 状	原 因	対 策
ポンプが作動しない。(電源が入らない) 時々ポンプが止まる。	電源コードが外れているか、断線している。	電源コードをコンセントに正しく差し込んでください。断線または断線の疑いがある場合は、コードを動かして症状を確認した後、販売店へご連絡ください。 
	ヒューズが切れている。 本体底面にヒューズホルダーがあります。 ※機器に吸引圧力が残った(真空計の針が0に戻っていない状態)まま、電源スイッチを「入」にすると、作動しなくなる、ヒューズが切れるおそれがあります。	ヒューズを確認してください。ヒューズが切れている場合は交換し、再度切れるようでしたら販売店へ連絡してください。 
	内部(モーター等)の異常が考えられる。	販売店へご連絡ください。

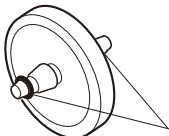
症 状	原 因	対 策
ポンプが作動しても吸引しない。 または吸引圧力が弱い。	チェックポイント 本体接続ホースを指で折り曲げ、空気を遮断します。強弱ツマミを「強」いっぱいにして作動させた時吸引圧力が-75kPa（※）程度まで上がればポンプは正常です。（真空計の針が上がります） ※ 初期性能は -85kPa ですが、ご用期間、頻度により性能が低下しますので、-75kPa を目安に判断してください。	
	フロートがフロートストッパーにくっついている。 （吸引ボトル内の吸引物が溜まり、安全機構が働いている。）	● 吸引物を廃棄してください。 ● 本体からボトルセットを外して、ボトルカバーを外し、フロートをフロートストッパーと離してください。 フロート、フロートガイドに吸引物等の付着が見られる場合は、分解して洗浄・乾燥のうえ元通りに取付けてください。（13、16 ページ参照） 

症 状	原 因	対 策
ポンプが作動しても吸引しない。 または吸引圧力が弱い。	ボトルカバーに亀裂が入っている。	ボトルカバーを交換してください。
	吸引容器のパッキンが入っていない。または曲がって組み込まれている。	パッキンを正しく組み込んでください。パッキンが古くなったときは交換してください。 (16 ページ参照)
	PTFE 吸引フィルター（オプション品）が目詰まりしている。	新しい PTFE 吸引フィルター（オプション品）に交換してください。
	クッション部カバーが正しく組み込まれていない。（緩み）	クッション部カバーをしっかりと組み込んでください。
	クッション部カバーのひび割れ。	クッション部カバーを交換してください。
	クッション部カバーに O リングが入っていない。または、曲がって組み込まれている。	O リングを正しく組み込んでください。O リングが古くなったときは交換してください。 (16 ページ参照)
その他	販売店にご連絡ください。	

オプション・交換部品について

ミニックS - II / W - IIにはオプション品および交換部品として、以下の製品を用意しております。本器をより効果的にご使用いただくために、ご利用ください。

－ オプション品 －

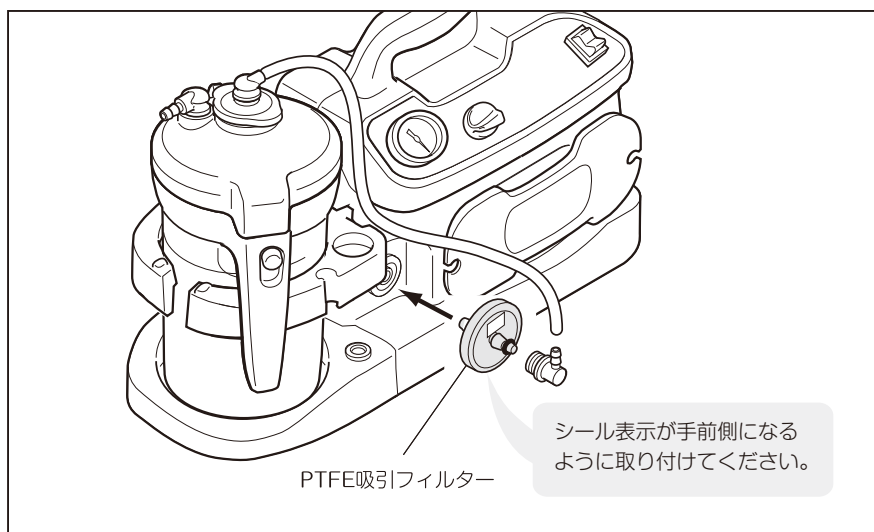
品 名	用 途
PTFE 吸引フィルター (ウォータブレイクスルーポイント 14 psi) (※)  Oリング付 商品コード：200191750 包装単位：1 個	このフィルターをご使用いただくことによって、ミスト状の吸引物や、吸引ボトルからの液体状の水分がポンプ内に浸入することを防止します。感染予防に おすすめします。
吸引カテーテル MT 包装単位：各 20 本  ● 8FR (外径 2.6mm) / ライトブルー 商品コード：340790040 ● 10FR (外径 3.3mm) / 灰色 商品コード：340790001 ● 12FR (外径 4.0mm) / 白色 商品コード：340790002 ● 14FR (外径 4.6mm) / 緑色 商品コード：340790003	吸引用カテーテルです。 外径およびカラーバリエーションは、4 種類あります。

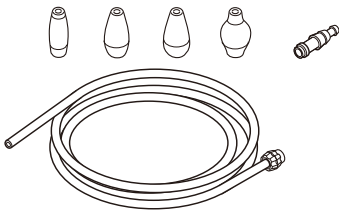
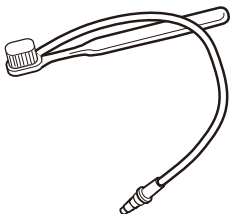
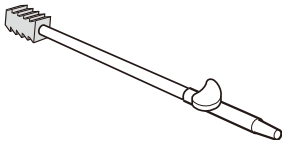
※ ウォータブレイクスルーポイントとは、疎水性のフィルターにおいて規定値以内であれば水性液体を通過させない能力を言います。なお、アルコール等の溶剤や消毒液を流すと、規定値以内の圧力でも水性液体が通過してしまう場合がありますので、注意が必要です。

PTFE 吸引フィルターの取付方法

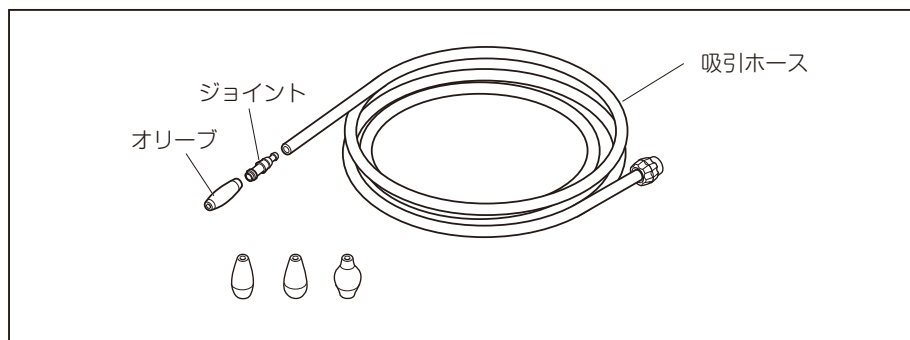
⚠ 注意

- ミスト状（霧状）になった吸引物が付着するため、徐々に目詰まりを起こします。吸引力が低下したと感じたら、早めに新しいフィルターと交換してください。
- 万一吸引物をフィルターに吸い込んでしまった場合には、1回で目詰まりを起こし、吸引できなくなる場合がありますので、ご注意ください。
- アダプター取付口等からの漏れにより吸引が弱いような場合は O リングを点検、交換してください。
- 滅菌・消毒しての再使用はできませんので、新しいフィルターと交換してください。
- 使用頻度や吸引物の性状等により、フィルターの交換時期は異なります。
- 目詰まりを起こした場合にすぐに交換できるように、常に予備用フィルターのご用意をしていただくことをおすすめします。
- アルコール等の溶剤や消毒液を流さないで下さい。（液体が通過してしまう場合があります。）

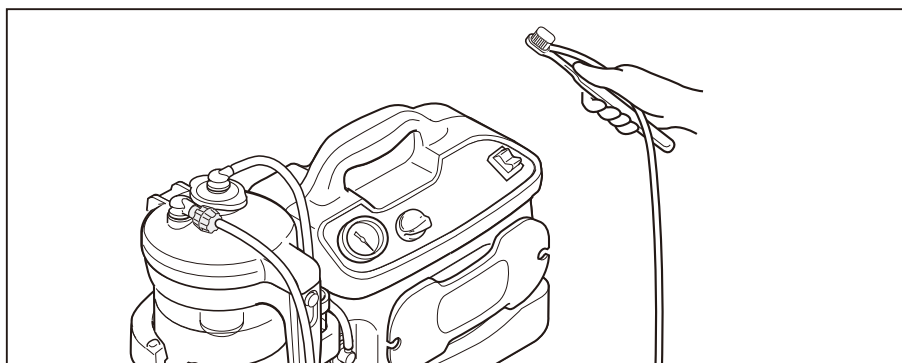


品 名	用 途
オリーブ管キット 構成品：オリーブ（極小・小・大・玉） ジョイント 吸引ホース（アダプター付） 商品コード：140030155 包装単位：1 セット 	鼻汁を吸引する時に使用します。サイズが4種類ありますので、小児から成人まで使用できます。シリコンゴム製なので、鼻腔を傷つけることなく吸引ができます。
吸いとる歯ブラシ 商品コード：200190210 包装単位：3 本 	吸引ホースまたはカテーテルコネクター（S-6）に接続して、洗浄水や唾液を吸引しながら歯磨きが可能です。ブラシ部分が小さいので、口腔内奥や狭い所まで届きます。（吸引カテーテルと歯ブラシが一体です）
吸いとるスポンジ 商品コード：200190211 包装単位：5 本 	吸引ホースまたはカテーテルコネクター（S-6）に接続して、口腔内の汚れを落としながら吸い上げます。枝に付いたハート型の穴で吸引のオン/オフが出来ます。

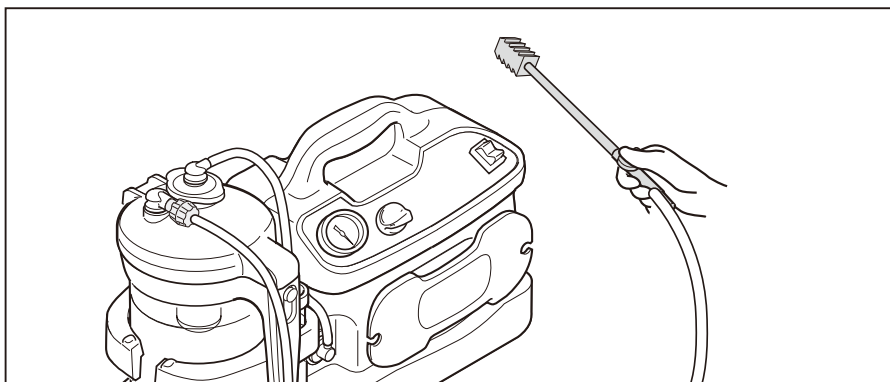
オリーブ管キットの取付方法

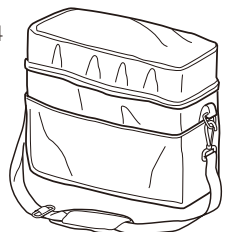
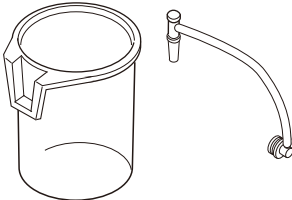
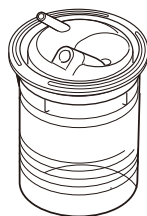


吸いとる歯ブラシの取付方法



吸いとるスポンジの取付方法

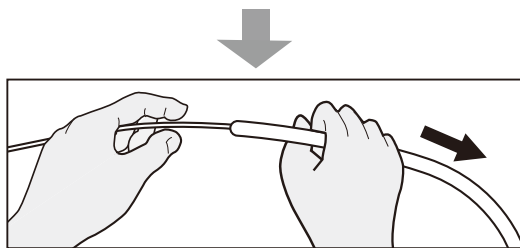
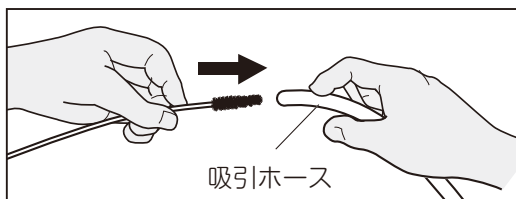


品 名	用 途
吸引ホース専用洗浄ブラシ 商品コード：200190250 包装単位：1 個  全長 1200 mm	7 × 11 吸引チューブの内部を洗浄する時に使用します。チューブ内部の汚れを落とすことができます。
専用キャリーバッグ 商品コード：200190224 包装単位：1 個 	ショルダーベルト付きで持ち運びに便利です。上ボタンが瞬時に開けられますので、緊急時にも素早く対応可能です。
ディスポキット 構成品：吸引キャニスタ 本体-ディスポ接続ホース 商品コード：200190218 包装単位：1 ケ 	吸引ボトルの代わりにディスポーザブル吸引バッグでを使用して吸引するためのキットです。 ● 吸引バッグを別途お買い上げください。
吸引バッグ 商品コード：凝固剤入 200190474 凝固剤無 200190475 包装単位：25 ケ 	ディスポキットに取付ける単回使用の吸引バッグです。 ● 使用方法は、吸引バッグの添付文書をご参照ください。 ● 吸引バッグは単回使用です。再使用はできません。使用後は市町村の指導により廃棄してください。

お求めの際は、お買い上げの販売店に商品名と商品コード、お求めになりたい数量をお伝えください。

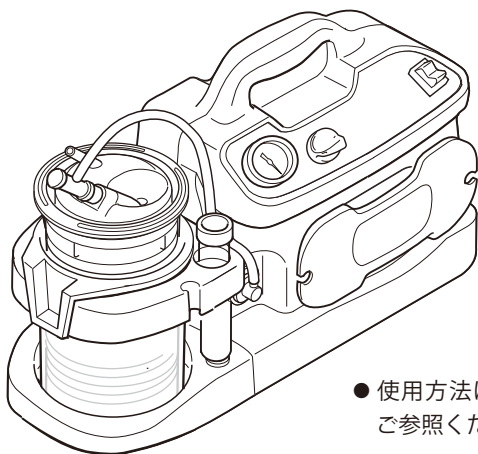
吸引ホース専用洗浄ブラシを用いたホース内部の洗浄方法

1. 吸引ホースを水ですすぎます。
2. ホース内部にホース専用洗浄ブラシを差し込み、洗浄します。
3. 汚れを落としたら吸引ホースを流水ですすぎ、乾燥させてください。



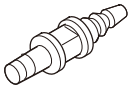
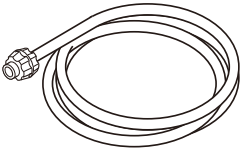
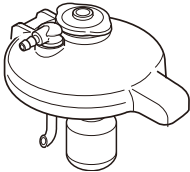
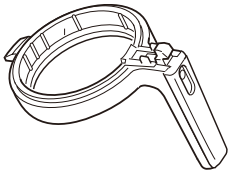
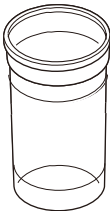
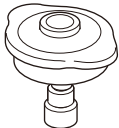
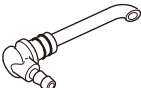
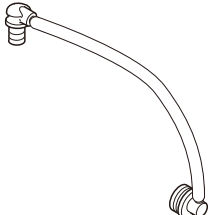
- ※ 中性洗剤を使用するとブラシの動きがスムーズになります。
また、ぬるま湯（40℃ 程度）で洗浄すると汚れが落ちやすくなります。

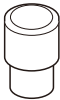
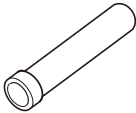
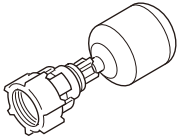
ディスポキット、吸引バッグの取付図



- 使用法は、キットの付属書をご参照ください。

- 交換部品 -

①カテーテルコネクター (S-6) 商品コード：200190225 包装単位：5 個 	② 7x11 吸引チューブ アダプター付2m 商品コード：200190082 包装単位：1 個 	③ プラボトル頭部一式 商品コード：200191250 包装単位：1 個 
④ ボトルホルダー 商品コード：200191251 包装単位：1 個 	⑤ 1400mL プラ吸引 ボトル 商品コード：200191264 包装単位：1 個 	⑥ 110 x130 シリコン パッキン 商品コード：200191254 包装単位：1 枚 
⑦ クッション部カバー (フィルター付) 商品コード：200191253 包装単位：1 個 	⑧ 吸引ホース口 ノズル付 (V-1) 商品コード：200191263 包装単位：5 個 	⑨ 本体頭部接続ホース (黄 - 黄) V-2 (頭部側) V-3 (本体側) 商品コード：200191255 包装単位：1 個 

⑩ フィルター ※⑦のフィルターのみ 商品コード：200191256 包装単位：5 個 	⑪ カテーテルホルダー 商品コード：200190037 包装単位：1 個 	⑫ 吸引ボトルパイプ (ブルー) 商品コード：200191262 包装単位：5 個 
⑬ フロート COMP ※⑭の部品は入って いません 商品コード：200191261 包装単位：1 個 	⑭ シリコンフロート ストッパー 商品コード：200191260 包装単位：1 個 	

お求めの際は、お買い上げの販売店に商品名と商品コード、お求めになりたい数量をお伝えください。

仕 様

販 売 名	ミニック S - II	ミニック W - II
認 証 番 号	22300BZX00311000	22300BZX00310000
類 別	機械器具 (32) 医療用吸引器	
一般的名称 (JMDNコード)	電動式可搬型吸引器 (36616030)	
医療機器クラス分類	管理医療機器 (クラス II)	
形 式	MS 2	MW 2
吸 引 圧 力 (最 大)	－ 85kPa	
吸 引 流 量 (最 大)	20 L / 分	30 L / 分
電 源	交流 100V 50-60Hz	
消 費 電 力	100 VA (50Hz)、110VA (60Hz)	
連 続 使 用 時 間	6 時間以内	
ポ ン プ	ピストン式シングルポンプヘッド	ピストン式ダブルポンプヘッド
電撃に対する保護の形式	 = クラス II /  = B 形装着部	
使 用 環 境 条 件	周囲温度 10 から 40℃ 相対湿度 30 から 75%	
保管 / 輸送環境条件	周囲温度 － 10 から 60℃ 相対湿度 10 から 75%	
本 体 寸 法 (突 起 部 含 ま ず)	395 (W) × 157 (D) × 274 (H) (mm)	
質 量	約 5.0 kg	約 5.4 kg
コ ー ド 長 さ	1.6 m	

上記性能には自社規格による公差があります。また、上記性能は出荷時のものであり、ご使用の期間・頻度等により性能は低下してきます。

EMC 適合

本製品は EMC 規格 (IEC 60601-1-2:2001) に適合しています。
ただし、他の医療機器、電子機器との併用において、相互に影響を生じる場合があります。本書ならびに添付文書に従って、正しい取扱いをしてください。

本 体
表 示



= 注意

注意・警告



= 交流電流



= クラス II



= 操作指示に従う



= B 形装着部

廃棄について

本器（付属品・オプション品を含む）を廃棄する場合は、お住まいの市区町村の指導に従ってください。

（環境汚染の原因となることがあります）

EMC 技術資料

【ミニック S - II / W - II】は、医用電気機器の安全使用のために要求されている EMC（電磁両立性）規格、IEC 60601-1-2：2001 に適合している装置です。EMC 規格は、医用電気機器を安全に使用するため、機器から発生するノイズが他の機器に影響を及ぼし、他の機器（携帯電話等）が発する電磁波から受ける影響を、一定のレベル以下に抑えるよう規定した規格です。IEC 60601-1-2:2001 において、機器が安全に機能するための EMC 環境に関する詳細な情報を使用者に提供することが求められているため、技術的な説明を以下に記載します。本製品をお使いいただく際には、付属の添付文書及び取扱説明書をよく読んでお使いください。

EMC(電磁両立性)とは

EMC（電磁両立性）とは、次の二つの事項を満たす能力のことです。

- ・周囲の他の電子機器に、許容できない障害を与えるようなノイズを出さない。（エミッション）
- ・周囲の他の電子機器から出されるノイズ等、使用される場所の電磁環境に耐え、機器の機能を正常に発揮できる。（イミュニティ）

EMC（電磁両立性）にかかわる技術的な説明

医用電気機器は、EMC に関して特別な注意を必要とし、次に記載する EMC の情報に従って使用する必要があります。

- ・本機器は電磁両立性（EMC）に関して、特別な注意が必要であり、本書に記載された EMC 情報に基づいて使用 しなければならない。
- ・携帯及び移動無線周波（RF）通信機器により本機器は影響を受けることがある。
- ・本機器は、他の機器に密着させたり、重ねた状態で使用しないこと。

表 1－ガイダンス及び製造業者による宣言－電磁エミッション－

【ミニック S - II / W - II】は、次に指定した電磁環境内での使用を意図している。【ミニック S - II / W - II】の顧客又は使用者は、このような環境内でそれが使用されることを確認すること。		
RF エミッション CISPR 11	グループ 1	【ミニック S - II / W - II】は、内部機能のためだけに RF エネルギーを使用している。したがって、その RF エミッションは非常に低く、近傍の電子機器に対して何らかの干渉を生じさせる可能性は少ない。
RF エミッション CISPR 11	クラス B	
高調波エミッション IEC 61000-3-2	非適用	【ミニック S - II / W - II】は、住宅環境及び受託環境の建物に供給する商用の低電圧配電系に直接接続したものを含む全ての施設での使用に適している。
電圧変動 / フリッカエミッション IEC 61000-3-3		

表 2－ガイダンス及び製造業者による宣言－電磁イミュニティ－

【ミニック S - II / W - II】は、次に指定した電磁環境内での使用を意図している。【ミニック S - II / W - II】の顧客又は使用者は、このような環境内でそれが使用されることを確認すること。			
イミュニティ試験	IEC60601 試験レベル	適合性レベル	電磁環境 - ガイダンス
静電気放電 (ESD) IEC 61000-4-2	± 6kV 接触 ± 8kV 気中	± 6kV 接触 ± 8kV 気中	床は木材、コンクリート又はセラミックタイルであること。床が合成材料で覆われている場合、相対湿度は最低 30% であること。
電氣的ファースト トランジェント / パースト IEC 61000-4-4	± 2 kV 電源ライン ± 1 kV 入出力ライン	± 2 kV 電源ライン なし (入出力ライン)	電源の品質は、標準的な商用又は病院環境と同じであること。
サージ IEC 61000-4-5	± 1 kV ライン - ライン間 ± 2 kV ライン - 接地間	± 1 kV ライン - ライン間 なし (ライン - 接地間)	
電源入力ラインでの 電圧ディップ、 短時間停電及び電 圧変動 IEC 61000-4-11	<5% UT (>95% UT のディップ) 0.5 サイクル間 40% UT (60% UT のディップ) 5 サイクル間 70% UT (30% UT のディップ) 25 サイクル間 <5% UT (>95% UT のディップ) 5 秒間	<5% UT (>95% UT のディップ) 0.5 サイクル間 40% UT (60% UT のディップ) 5 サイクル間 70% UT (30% UT のディップ) 25 サイクル間 <5% UT (>95% UT のディップ) 5 秒間	
電源周波数 (50 / 60 Hz) 磁界 IEC 61000-4-8	3 A / m	3 A / m	電源周波数磁界は、標準的な商用又は病院環境における一般的な場所と同レベルの特性をもつこと。
注記 UT は、検査レベルを加える前の、交流電源電圧である。			

表 3－ ガイダンス及び製造業者による宣言－ 電磁イミュニティー

【ミニックス S- II / W- II】は、次に指定した電磁環境内での使用を意図している。【ミニックス S- II / W- II】の顧客又は使用者は、このような環境内でそれが使用されることを確認すること。			
イミュニティ試験	IEC60601 試験レベル	適合性レベル	電磁環境 - ガイダンス
伝導 RF IEC 61000-4-6	3Vrms 150kHz~80MHz	3V	携帯形及び移動形 RF 通信機器は、【ミニックス S- II / W- II】のいかなる部分に対しても、送信機の周波数に該当する方程式から計算された推奨分離距離より近づけて使用しないこと。 推奨分離距離 $d = 1.2 \sqrt{P}$ $d = 1.2 \sqrt{P}$ 80 MHz ~ 800 MHz $d = 2.3 \sqrt{P}$ 800 MHz ~ 2.5 GHz ここで、P は、送信機製造業社によるワット (W) で表した送信機の最大定格出力電力であり、d はメートル (m) で表した推奨分離距離である。電磁界の現地調査 a) によって決定する固定 RF 送信機からの電界強度は、各周波数範囲 b) における適合レベルよりも低いこと。 次の記号が表示されている機器の近傍では干渉が生じる可能性がある。 
放射 RF IEC 61000-4-3	3V / m 80MHz~2.5GHz	3V / m	
備考 1 80 MHz 及び 800 MHz においては、高い周波数範囲を適用する。 備考 2 これらの指針はすべての状況に対して適用するものではない。建築物・物・人からの吸収及び反射は電磁波の伝搬に影響する。			
a) 無線（携帯／コードレス）電話及び陸上移動無線の基地局、アマチュア無線、AM・FM ラジオ放送及び TV 放送のような固定送信機からの電界強度を、正確に理論的に予測をすることはできない。固定 RF 送信機による電磁環境を見積もるためには、電磁界の現地調査を考慮すること。【ミニックス S- II / W- II】が使用される場所において測定した電界強度が上記の適用される RF 適合レベルを超える場合は、【ミニックス S- II / W- II】が正常動作をするかを検証するために監視すること。異常動作が確認された場合には、【ミニックス S- II / W- II】の、再配置のような追加対策が必要となる可能性がある。			
b) 周波数範囲 150kHz ~ 80MHz を通して、電界強度は、3V / m 未満であること。			

表 4－ 携帯形及び移動形 RF 通信機器と機器又はシステムとの間の推奨分離距離

【ミニックス S- II / W- II】は、放射 RF 妨害が管理されている電磁環境内での使用を意図している。【ミニックス S- II / W- II】の顧客又は使用者は、送信機器の最大出力に基づく次に推奨している携帯形及び移動形 RF 通信機器（送信機）と【ミニックス S- II / W- II】との間の最小距離を維持することで、電磁障害を抑制するのに有効である。			
送信機の最大定格出力電力 (W)	送信機の周波数に基づく分離距離 (m)		
	150 kHz ~ 80 MHz $d = 1.2 \sqrt{P}$	80 MHz ~ 800 MHz $d = 1.2 \sqrt{P}$	800 MHz ~ 2.5 GHz $d = 2.3 \sqrt{P}$
0.001	0.12	0.12	0.23
0.1	0.38	0.38	0.73
1	1.2	1.2	2.3
10	3.8	3.8	7.3
100	12	12	23
上記にリストされていない最大定格出力電力の送信機に関しては、メートル (m) で表わした推奨分離距離 d は、送信機の周波数に対応する方程式を用いて決定できる。ここで、P は、送信機製造業者によるワット (W) で表わした送信機の最大定格出力電力である。 備考 1 80 MHz 及び 800 MHz においては、分離距離は、高い周波数範囲を適用する。 備考 2 これらの指針は、すべての状況に対して適用するものではない。建築物・物・人からの吸収及び反射は、電磁波の伝搬に影響する。			

保証・アフターサービスについて

保証の内容とご確認

1. 保証期間は、お買い上げ日から1年間です。
2. 保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取って頂き、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

修理をご依頼されるとき

本器をご購入いただいた販売店に修理依頼の旨と保証書に記入されている製品名・製造番号・お買い上げ日をご連絡ください。



修理を依頼されるときのご注意

1. お客様ご自身での修理・分解や改造等をされると、故障原因が判明できないうえ、事故の原因となりますので、修理をお引受けできない場合があります。
2. 本器を点検または修理として戻される場合には、**吸引ボトル内の分泌物は必ず捨て、消毒または滅菌を行った後にお戻しください。**
なお、感染症等の恐れがある場合にはお引受けできませんので、あらかじめご了承ください。



耐用期間について

本器の耐用期間は、ご購入後**7年**です（当社データによる自己認証）。ただし、推奨された環境で使用され、本書ならびに添付文書にしたがった「保守・点検」を実施した場合の耐用期間であり、使用状況により差異が生じることがあります。耐用期間を超過した製品の点検・修理につきましてはお断りさせていただくことがございます。あらかじめご了承ください。



補修用部品の最低保有期間について

補修用部品とは、機器の性能・安全性を維持するために必要な部品です。当社は、補修用部品を製造中止後7年間保有しております。

アフターサービスなどについて、おわかりにならないときは

お買い上げの販売店又は本書巻末の発売元（新鋭工業株式会社）各支店にお問い合わせください。

発売元



最適な提案で医療福祉社会に貢献する

新鋭工業株式会社

本社 〒362-0055 埼玉県上尾市平方領領家308-2

東京支店	〒113-0033	東京都文京区本郷3-12-5	TEL. 03-3816-0444	FAX. 03-3816-0406
大阪支店	〒541-0042	大阪市中央区今橋1-6-1	TEL. 06-6228-3311	FAX. 06-6228-3321
札幌支店	〒060-0907	札幌市東区北七条東4丁目28-3	TEL. 011-741-7752	FAX. 011-753-2703
仙台支店	〒984-0012	仙台市若林区六丁の目中町10-10	TEL. 022-288-4660	FAX. 022-288-4661
新潟支店	〒951-8136	新潟市中央区関屋田町1-1	TEL. 025-233-0592	FAX. 025-233-0573
長野支店	〒390-0835	長野県松本市高宮東5-13	TEL. 0263-24-2840	FAX. 0263-27-3152
名古屋支店	〒466-0023	愛知県名古屋市昭和区石仏町2-1-40	TEL. 052-859-1333	FAX. 052-859-1334
山陰支店	〒683-0001	鳥取県米子市皆生温泉2-20-27	TEL. 0859-34-5675	FAX. 0859-34-5708
岡山支店	〒700-0982	岡山市北区中島田町1-7-8	TEL. 086-235-0323	FAX. 086-235-0324
広島支店	〒733-0822	広島市西区庚午中4-10-36	TEL. 082-275-0740	FAX. 082-275-0760
福岡支店	〒813-0034	福岡市東区多の津5-11-25	TEL. 092-622-0055	FAX. 092-622-0052
沖縄支店	〒901-2103	沖縄県浦添市仲間1-19-6	TEL. 098-876-4262	FAX. 098-876-6097

製造販売元

株式会社 三幸製作所

〒331-0077 埼玉県さいたま市西区中釘652番地

医療機器製造販売業許可番号 11B1X00012

※製品は改良のため、予告なく仕様を変更する場合があります。